

# 令和5年度 自己評価結果公表シート

学校法人 臼井学園  
長池昭和幼稚園

## 1. 本園の教育目標

発達に応じた楽しいあそびの中で、知・体・徳のバランスのとれた教育を展開し心身ともに元気で明るい、のびのびした子どもを育てることを目指す。

- ・自ら進んで新しい発見をし、喜びを持ち工夫する子どもを育てる。
- ・自分や他人を大切にし、みんなと仲良く協力できる子どもを育てる。
- ・規則正しい生活ができ、自ら安全な行動のできる子どもを育てる。

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・子どもたちが集団の中で様々な体験をすることにより、逞しく生きる力を生む。
- ・園の教育目標に沿った保育実現の為、客観的に自己評価を行い、保育者としての資質向上を図り、質の高い保育の提供に努める。
- ・教職員間で子どもたちの情報を共有し、成長に寄り添った保育を実施する。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	達成及び取り組み状況
保育の内容	・園児一人一人が集団内で様々な体験ができるよう保育や行事について考え、就学前に必要なことを身につけられる様な保育を行う。その結果卒園児をしっかりと小学校に送り出す事が出来、在園児についても進級につなげることが出来た。
子どもへの共通理解	・クラス・学年を超えて、子どもたちの情報を共有し、それぞれの子どもに即した保育について話し合った。 ・個人懇談など保護者との連携を密にし、子どもたちについての理解を深めるように努めた。
教職員の資質の向上	・職員会議等を通じ、教職員間の意見交換や保育の内容の検討・評価を行い、園全体の質の向上と教員の保育技術の向上に努力した。
健康・安全の取り組み	・色々な感染症が流行したが、換気や消毒、教職員のマスク着用で園内の感染拡大の予防に努めたが、2月に教職員内で新型コロナウイルスが広がり、休園措置を行った。 ・交通安全指導や消防署員立ち合いで火事や地震の避難訓練を行った。

#### 4. 学校自己評価の総合的な評価結果

- ・ 保育内容については指導計画・行事等予定していたことを概ね行うことが出来た。  
また一人一人に寄り添った保育を提供する事が出来た。
- ・ 感染対策においては休園措置を行うなど課題がみられた。

#### 5. 今後の取り組むべき課題

- ・ 少子化が進む中、園児数が減少しているので時代のニーズを見極め対応して行く。
- ・ こまめな水分補給や手洗いの励行を行い、熱中症対策、感染症対策を徹底し、園児の健康に十分注意して保育を進める。
- ・ 在園児の保護者のみならず、地域の子育て中の保護者にも寄り添った取り組みを実施する。

#### 6. 学校関係者評価

- ・ 「家庭的な温かい落ち着いた環境の中、子どもたちの健やかな成長を見守って頂きありがとうございます。子どもたちも毎日幼稚園に行くのを楽しみに喜んで登園しています。今後とも子どもたちに寄り添った保育を進めて頂きたい。」
  - ・ 「園児数の減少が顕著であり、よりニーズをつかみ園のアピールを外部に行うべきである」
  - ・ 「少人数の中にあっても丁寧な保育を心掛け、これからはしっかりと子どもたちを小学校に送り出してほしい。」
  - ・ 「幼稚園の自己評価、今後への取り組むべき課題については適正であると思います。」
- 以上のお声を頂きました。